**「2016 NEAR国際フォーラム」開催計画**

**１　開催目的**

NEAR会員自治体職員、北東アジア地域の専門家、企業関係者等が集まり、実質的な交流協力方案を模索するため、国際フォーラムを開催する。

**２　行事概要**

○期　　間：2016年11月25日（金）～ 26日（土）

○場　　所：大韓民国・慶尚北道安東市　安東グランドホテル

○規　　模：約300名（NEAR会員自治体職員、専門家、関係機関等）

○主催/主管：NEAR / NEAR事務局、（社）韓国観光学会

○後　　援：外交部、文化体育観光部、慶尚北道、韓国観光公社　等（予定）

○内　　容：テーマ発表・討論、観光広報ブース運営、現地視察等

＜観光広報ブースについて＞

場所：安東グランドホテル　２階ロビー

数量：５ブース（日本、中国、韓国、モンゴル、ロシア　各１ブース）

内容：各会員自治体の広報物、観光パンフレット、特産品等を展示

**３　フォーラムのテーマについて**

○テーマ：観光を通じた北東アジアの協力と発展

○テーマ選定の背景

・観光産業は世界のGDPの９％、雇用の９％、投資・輸出額の５％を占めており、今後10年間で平均4.4％の成長が見込まれる重要な部門。

・北東アジア地域における観光の模範事例について議論し、発展モデルを発掘することで、地域観光の持続可能な発展戦略を提示することが必要。

○セッション別テーマ

セッションⅠ：観光と地域の発展

セッションⅡ：持続可能な観光と国際協力

セッションⅢ：北東アジア相互の観光協力

**「2016 NEAR国際フォーラム」日程表**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **日時** | | | **内容** | **備考** | |
| **【１日目】**  **11月24日**  **（木）** | 13:00～18:00 |  | 登録 | ホテル１階 | |
| 18:00～20:00 |  | 夕食 | ホテル内レストラン | |
| 21:00～ |  | 宿泊 |  | |
| **【２日目】**  **11月25日**  **（金）** | 07:00～09:00 | 120分 | 朝食 | ホテル９階ラウンジ | |
| 09:00～10:30 | 90分 | 登録 | ホテル２階  グランド・ボールルーム | |
| **オープニング・セッション（60分）** | | | | |
| 10:30～10:40 | 10分 | NEAR広報映像上映 |  | |
| 10:40～10:45 | 5分 | 開会挨拶 | 全哉垣　NEAR事務総長 | |
| 10:45～11:05 | 20分 | 歓迎の辞、祝辞 | 金寛容　慶尚北道知事　等 | |
| 11:05～11:25 | 20分 | 基調講演 | 鄭昌洙　韓国観光公社社長 | |
| 11:25～11:40 | 15分 | 特別講演 | Eugene Y Roh  中央ミシガン大学教授 | |
| 11:40～11:50 | 10分 | 記念撮影 | 発表者、会員自治体代表 | |
| 11:50～13:00 | 70分 | 昼食 |  | |
| **セッションⅠ：観光と地域の発展（80分）** | | | | 観光広報  ブース運営  （２階） |
| 13:00～13:40 | 40分 | 発表１：日本の地域観光開発と地域発展事例  発表２：ロシアの地域観光開発と地域発展事例 | |
| 13:40～14:20 | 40分 | 討論・質疑応答 | |
| 14:20～14:40 | 20分 | Coffee Break | |
| **セッションⅡ：持続可能な観光と国際協力（80分）** | | | |
| 14:40～15:20 | 40分 | 発表１：地域の観光開発と持続可能な観光  発表２：持続可能な観光、生態観光、認証制度 | |
| 15:20～16:00 | 40分 | 討論・質疑応答 | |
| 16:00～16:20 | 20分 | Coffee Break | |
| **セッションⅢ：北東アジア相互の観光協力（80分）** | | | |
| 16:20～17:00 | 40分 | 発表１：地方自治体の国際観光協力  発表２：地方自治体の国際観光協力と懸案課題 | |
| 17:00～17:40 | 40分 | 討論・質疑応答 | |
| 17:40～17:50 | 10分 | 閉会 | |
| 19:00～21:00 | 120分 | 公式晩餐会 |  | |
| **【３日目】**  **11月26日**  **（土）** | 07:00～08:30 | 90分 | 朝食・チェックアウト |  | |
| 09:00～12:30 | 210分 | 現地視察 | 安東河回村、慶尚北道新庁舎 | |
| 13:00～14:00 | 60分 | 昼食 |  | |
| 14:30 |  | 解散 | ホテル１階 | |

※詳細は変更となる場合があります。

**セッション別主要内容**

**■オープニング・セッション**

◯開会挨拶、歓迎の辞、祝辞

◯基調講演（テーマ：「観光を通じた北東アジアの協力と発展」）

・現在、北東アジア国家間の観光活動が非常に活発に行われている一方で、そのメリットの享受は一部の大都市に集中している。また、消費性の強い観光が蔓延し、地域の生態系、文化、環境等の破壊が続いている。

・北東アジアの持続可能な観光発展に向けて相互の価値を認識し実践するため、国家－都市－地域間の情報共有及び協力体制の構築が必要である。

・北東アジアの観光分野における成功事例を検討し発展モデルを探ることで、地域観光の持続可能な発展戦略を提示することができ、また、会員自治体間で相互に観光地の共同認証を行うなど、北東アジアにおける観光発展の共通の方向性を設定するベースとなることが期待される。

◯特別講演

**■セッションⅠ：観光と地域の発展**

◯北東アジア各国で行われた地域観光開発の類型と成功事例を通して、今後、北東アジア地域の自治体が追求すべき地域観光政策の示唆点を導き出す。

◯地域の観光開発における中央政府・地方自治体の協力方策や観光開発政策の成功例について議論する。

**■セッションⅡ：持続可能な観光と国際協力**

◯持続可能な観光を実現するための政策と成功事例：国家レベルの政策を考察し、成功的な導入事例を共有することで、今後の持続可能な観光開発のために政府、地方自治体、観光業界、観光客等がどのような役割を果たしていくべきかを検討する。

◯持続可能な観光のための制度導入と国際協力：資源の保存や効果的な利用、地域の環境、文化、歴史的資源を基盤とした生態観光の持続可能性確保のための制度を検討するとともに、類似した自然資源や文化を持つ北東アジア地域の協力・ネットワーク活性化方案を模索する。

**■セッションⅢ：北東アジア相互の観光協力**

◯相互の観光協力における課題の導出とその実践方案：国際観光における障害要因の除去、環境配慮型の持続可能な観光開発、観光客の安全・危機管理、共同マーケティング、観光関連情報の共有、観光統計の改善、観光人材の教育・訓練等に関する情報を集約し、国際観光協力における主要課題の実践方案を議論する。

◯NEAR会員自治体間の実質的な観光交流協力推進の重要性：６か国の会員自治体間の一対一の交流や、実利的・戦略的な相互観光交流システムを構築することによる相互の観光客誘致、青少年交流・姉妹都市交流といった中長期的に実行可能な地方自治体間の具体的交流事業について議論する。